



水野: 今日お集まりいただいたみなさんは、ここ10年くらいの間、豊橋市の国際交流にご尽力いただいたみなさんです。協会設立20周年の節目にあたり、これまでの10年を振り返りつつ、今後の協会に期待することなどを伺いたいと思います。まず久野さんお願いいたします。

久野: 私は愛知大学の卒業生なので、豊橋のまちに関わって20数年経ちます。協会と関わるようになったのは1995年(平成7年)協会の日本語講座の講師を担当してからです。当初、私は豊橋の外国人のことを全く知りませんでした。1995年当時の受講生は、中国人や、フィリピン人、英会話の講師などで、ブラジルやペルーの方は数名だけでした。みなさんとても熱心な受講生でした。日本語講座は全10回の講座なのですが、受講生から、講座終了後も続けて勉強したいという声があり、1997年に日本語指導ボランティアによる「にほんごきょうしつ」を立ち上げました。当時の協会はまだ旧事務所の方で、その頃は不登校の外国人児童・生徒が増えてきた時期でした。そして1998年以降、ブラジルやペルーからの出稼ぎ者が爆発的に増え、「日本語講座」や「にほんごきょうしつ」の存在が意味を持つようになりました。

私は日系人のコミュニティに飛び込まなければ、彼らの実体は分からないと思いました。国際交流協会だけでは限界があると。当時、愛知大学の留学生別科で非常勤講師をしていましたので、愛知大学でも何かできないかとオープンカレッジの担当者に相談したところ、オープンカレッジの授業として土曜日の夜、日本語クラスを持たせていただけることになりました。日本語クラスの開講についてまちの人々に知らせるため、私自身がブラジル食材店や派遣会社などに足を運び、宣伝しました。みなさん、とても協力的でした。いろいろな出会いを通して私自身も人として成長できたと感じています。

水野: 日本語教師として思い出に残るエピソードは、ありますか?
久野: はい。「にほんごきょうしつ」



久野かおるさん

協会設立20周年を記念し、当協会日本語講座講師の久野かおるさん、中国語講座講師の劉慶普さん、英会話講座講師の谷中テレサさんにお集まりいただき、豊橋トリード委員会の水野昭彦さんを司会に、ここ10年を振り返るお話を伺いました。

このことですが、ひどい台風の日、こんな日に受講生は誰も来ないだろうと思いつつも、私は担当者だから行かなくてはと協会へ行ったところ、ずぶ濡れになって来てくれたブラジル人の受講生がいたんです。私は涙が出るほど嬉しかったです。

当時の「にほんごきょうしつ」は毎日でも受講できるシステムだったため、13~16歳くらいの子どもたちが、まるで学校に来るかのよう毎日楽しそうに勉強していました。また、私の日本語講座の受講生の中には、NPOや市役所に就職できたり、今年3月の「求職中の外国人のための緊急支援日本語講座」で私のアシスタントをしてくれたり、驚くほど成長した子もいます。彼らの横に立って、これほど嬉しかったことはありません。

豊橋のブラジル人は集住しがちですが、日本人の中に入れていかなければという意識のあるブラジル人が出てきたので、今がちよど変わっていきるときではないでしょうか。私は国際交流協会の認知度が低いのを残念に思います。7~8年前、豊橋の小・中学校でも協会の知らない先生が多かったのです。外国人児童・生徒がいるのにです。協会が素晴らしい活動をしていても一方通行なのは寂しいことです。

水野: 意識の差があるのですね。国際交流は生活の中の「こころの壁」を打ち破ることが必要でしょうね。国際交流協会の役割としてはそれをどう乗り越えるかという使命があると思われます。

では、次に劉さんお願いします。

劉: 久野先生のお話を聞いてすごく感動しています。国際交流は簡単にはできないことをしみじみ感じています。私は17年前、1992年に日本に来て、2年目から協会の中国語講座の講師をしています。愛知大学では客員講師として、愛知県立大学では客員教授として教えたり、愛知教育大学、豊橋技術科学大学、静岡県立大学、豊橋商業高校では非常勤講師として教えました。今も愛知県立大学と愛知大学で教えています。

私は一人の外国人として日本で生活すること自体、国際交流であり、仕事以外の自分の生活すべてが国際交流であると考えています。日々の生活もさやかな交流ではないでしょうか。私は自分が中日友好大使のつもりです。

水野: 劉さんは協会でご教えて何年になりますか? また10年くらい前と今とは何か違うことがありますか?

劉: 私は協会でご教えて17年になります。当時と比べて、協会の施設も、受講者もすごく変わりました。私が来日した頃は、中国は改革開放の始まったばかりの頃で、中

ゆたかな地域社会づくりに奉仕する

地元とともに
蒲郡信用金庫

理事長 吉川敏夫

蒲郡市元町5番8号

☎ 0533 69-5311(代)
http://www.gamashin.co.jp/

「とよしん」は、
ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579番地 ☎(0532)52-0321(代)

http://www.toyo-shin.co.jp

国との交流はそれほど盛んではなかったです。中国語講座の生徒の中には昔中国と関わりのあった人、中国に行ったことのある人、中国からの引揚者もいました。年齢層も高く60歳以上の方が多かったです。現在の受講者は小学生から大学生、社会人ととても幅広く、夫婦で勉強されている方もみえます。中国語を勉強する目的も多様化していて、仕事で中国へ行く方から、旅行で中国へ行きたい方、中国で暮らしたい方留学したい方など様々です。今の中国語クラスの年長は70歳の方で、生涯学習の一端を協会が担っていると思います。また昨年南通市へ中学生海外派遣で行った子が今年の講座に参加してくれています。



劉慶普さん

最近、日本人の視点も、欧米から、アジアの中国へ目を向けてもらえるようになりました。

私は豊橋が好きです。でも静岡県立大短期大学へ教えに行ったとき、豊橋と違って活気があってびっくりしました。豊橋には豊橋の生活スタイルがあるとは思いますが...

国際交流協会の中国語講座1期生の方が「長城会」という会を作って、今現在も続いています。「長城会」という名前は万里の長城のように、ずっと長く続けたいという気持ちから付けられたそうです。長城会には2年目から関わるようになりました。

私は中国語を教えています。教えるというよりも自分が勉強させてもらっていて、いつも生徒の皆さんの熱心ぶりに感動しています。

水野: 語学は続けることが大事ですよ。

劉: はい。中国語は英語より難しいのです。特に発音が。ですから生徒の皆さんが脱落しないように楽しく教えています。基礎は発音が中心です。多くの方が10回講座の後も続けたいとのことで、とても嬉しいです。それから豊橋市が南通市と友好都市である関係から南通市からの手紙の翻訳をよく引き受けます。また私の息子が中学2年のとき、南通市への中学生海外派遣団員に選ばれた縁もあります。

水野: では次にテレサさんをお願いします。

谷中: 私は20年前に豊橋に来ました。来日してから英会話を教えており、協会の講座は来日3年目から担当するようになりました。



谷中テレサさん

今と20年前では豊橋はとても変わりました。20年前は外国人が行くところはありませんでした。20年前、黒人の友人とベンチに座ったら、隣にいた日本人が席を立ち、避けられました。

しかし今では街中の見知らぬ人からは「Hi!」と声をかけられます。すごい変化だと思います。

英会話のクラスでのことです。ある積極的な生徒さんが、脳梗塞で倒れてしまいました。すぐに救急車を

呼んで対応しました。後日、ご本人からテレサ先生のせいじゃないですからねと言われました。その後、その生徒さんは元気にまたクラスを受講してくれました。

水野: テレサさんはトリードへ行かれたことがありますよね?

谷中: はい。1998年姉妹都市提携の前にトリードへ行きました。現地ではトリードのいろいろな所を案内しました。そのときの私のホストファミリーはかなり高齢のご夫婦でした。旦那さんは新聞記者、奥さんは貧しい地区の高校の先生をされていた方でした。あるとき、ホストファミリーとタコスレストランに食事へ行きました。行く途中、近くにはキャデラックに乗って、大音響で音楽を流している4人組の若者がいました。レストランに着いて注文し、会計をしようとしたら、誰も少額のコインの持ち合わせがないことに気が付きました。お店には少額コインでないと会計はできないと言われ、困っていたら、先ほどの若者が「よかったらどうぞ」とコインをくれました。とても意外でびっくりしました。人は外見で判断してはいけませんね。

豊橋市内に住むフィリピン人はコミュニティを作ることはなく、グループを作っても2~3人くらい。お互い会えるのはフィリピン料理のお店が教会です。

以前国際交流協会の紹介で中日新聞に私へのインタビュー記事が出たら、「頑張ってください!」と20人くらいの見知らぬフィリピン人や日本人から励ましの電話がありました。とてもびっくりしました。

水野: では最後にそれぞれみなさんが国際交流協会に期待することについてお話しいただけますか?

劉: もっと市民が国際交流に関わるような形がよいと思います。国際交流をしたい日本人はまだいっぱいいるはずですよ。今はまだ足が運びづらく輪に入れない状況ではないでしょうか?



水野昭彦さん

水野: ここに国際交流協会があるのを知らない人もまだまだいますよね。また間違ったイメージを持たれていることもあるかもしれません。気軽に集え、利用できる場になれば、もっと目指すものに近付けるのではないのでしょうか。

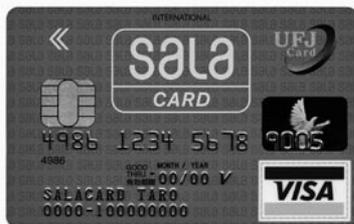
久野: 国際交流協会を知ってもらうには何をすればよいか考えなくては。こどもをメインにし、親を巻き込んではどうでしょう。

谷中: 国際交流協会の宣伝をもっとしてほしいです。また協会のライブラリーの図書は中央図書館の図書より英語の書籍は充実していると思いますので、もっと多くの人が利用しやすいような工夫するとよいと思います。

水野: 10年前に比べれば、意識の問題、観光、ビジネスの面でも豊橋は変わりました。生活の場での海外との交流が増え、意識が変わっていったのではないかと思います。そして、ここ国際交流協会が外国人も日本人もより一層集える場になるとよいのではないのでしょうか。

それでは、これで座談会を終了いたします。みなさん、どうもありがとうございました。

ガス料金のお支払はサーラカードが断然お得!



1. 入会金・年会費永年無料
入会金・年会費は一切かかりません
2. ポイントは生涯有効
3. ポイント自動還元
ポイントが貯まると5,000円分のUFJ NICOS
ギフトカードが自動的に送られてきます。

ありがとうを未来へ

100th
Anniversary

中部ガス株式会社

<http://chubugas.co.jp>

SALAサーラグループ

本社 〒440-8531
豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー
TEL: 0532-51-1212

豊橋支店 〒441-8511 豊橋市神野新田町テノ割1番地
TEL: 0532-32-5511

豊川営業所 〒442-0888 豊川市千歳通1丁目36番地
TEL: 0533-85-7025